

6 可能性を引き出し、活力とゆとりある地域をつくる（地域生活経済圏の形成）

（1）地域生活経済圏の基本的考え方

北海道では、地域の自主性と創意工夫により、地域の特色や可能性を生かした、活力あふれる地域づくりを進めるため、6つの地域生活経済圏の形成を進めています。

これらの地域生活経済圏を形成するため、中核都市圏と地域中心都市と農山漁村の結びつきを強め、ともに発展することをめざしています。

6つの地域生活経済圏



- 道南圏...渡島支庁、檜山支庁
- 道央圏...石狩支庁、後志支庁、空知支庁、胆振支庁、日高支庁
- 道北圏...上川支庁、留萌支庁、宗谷支庁
- オホーツク圏...網走支庁
- 十勝圏...十勝支庁
- 釧路・根室圏...釧路支庁、根室支庁

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

地域の特色や創意に基づき広域的な観点から地域の発展を促す取組として、6圏域で37のパートナーシップ・プロジェクトを市町村などとともに策定しており、プロジェクトの目的を達成するため、地域の主体性を尊重し、支援・協力しながらともに推進していきます。

【地域政策の立案形成・推進】

地域重視の観点に立った、より地域に身近な道政を展開するため、市町村などとの連携を一層強め、地域住民や民間、行政による地域の創意と主体性を生かした個性的で魅力ある地域づくりを進めます。

また、地域の課題はできるだけ地域で解決し、地域の発展の可能性が十分生かされるような環境をつくっていくため、地域の意向の把握に努めるとともに、支庁の政策機能の強化を図ることとし、次の施策を積極的に展開していきます。

地域に根ざした政策の立案形成

支庁主体による地域課題への的確な対応や個性的な地域づくりの推進

地域課題の解決や地域活性化を目的として取り組まれる各種ハード事業やソフト事業への支援

【過疎地域の自立促進】

北海道の過疎地域は、豊かな自然環境の下、地域固有の歴史や文化などを育んできた一方、若年層を中心とする人口の流出や高齢化の急速な進行、基幹産業の低迷など、地域活力の低下が懸念されています。

このため、「北海道過疎地域自立促進方針」及び「北海道過疎地域自立促進計画」などに基づき、生活環境施設や交流拠点施設の整備、情報化や地域間交流の促進、関連産業間の連携強化による地場産業や地域文化の振興等による個性豊かな地域社会の形成に向けた諸施策を推進し、道内141の過疎地域市町村（全市町村の78.0%）の自立促進を図っています。

【日本海地域の振興】

北海道の日本海地域は、基幹産業の低迷、過疎化や高齢化の進行などにより、厳しい環境にあります。

このため、「日本海地域振興方策」などに基づき、生活環境の整備や産業の振興などに重点をおいた施策を推進し、日本海地域の活性化を図っています。

【地方拠点地域などの整備の促進】

地域の創意工夫を生かしながら、地方の発展の拠点となる地域の一体的な整備を図るため、「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」に基づき、地方拠点都市地域の都市機能の増進、居住環境の向上などを積極的に促進していきます。

また、地域社会の中心となる地方都市の育成を図るため、多極分散型国土形成促進法に基づく基本構想に沿って特色ある科学・技術・文化の交流拠点となる地域の開発整備を進めていきます。

（２）歴史と文化が香り、国内外にひらかれた「道南圏」

【圏域の概況】

道南圏は、渡島半島に位置し、中央部には南北に山地が走り、また、日本海、津軽海峡、太平洋に面した海岸線は一部を除き海岸段丘が海に迫る変化に富んだ地形となっています。

平成17年10月現在の人口は496千人（H17国勢調査）で、平成12年に比べ3.9%の減少となっています。この圏域は、本道では早くから開けた地域で、函館、松前、江差、上ノ国などには本道の歴史を伝える多くの文化遺産が残されています。また、良食味米や野菜・花きをはじめ、イカやアワビなど豊かな水産物、「道南スギ」などさまざまな農林水産資源に恵まれています。

青函トンネルの開通を契機とした「青函経済文化圏」の形成の推進、北海道新幹線新青森・新函館間の着工、函館とユジノサハリンスクとを結ぶ定期航空路の開設など、国内外に開かれた交流・連携の拠点としての役割が一層期待されています。

【圏域の振興方向と主な施策】

だれもが安心して暮らせる地域づくり
保健・医療・福祉の充実
安全な地域づくり
生活環境の整備や環境に配慮した地域づくり
「青函経済文化圏」を核とした地域間交流・連携の拡大
青函交流や噴火湾地域の交流の推進
サハリン州などロシア連邦極東地域との交流の促進
創造性豊かな人材の育成と歴史・文化や国際性を生かした地域づくり
創造性豊かな人材の育成
歴史や文化を生かした地域づくり
国際交流の促進
地域を支えるたくましい農林水産業の展開
農業の振興
林業の振興
水産業の振興
地域の特性と技術力を生かした多様な産業の展開
産業集積の高度化
商店街の活性化
道南の自然や歴史を生かした魅力ある観光・保養エリアの形成
観光資源の開発
ホスピタリティの充実
観光プロモーションの展開
道内外と結ぶ交通・情報ネットワークの形成
交通ネットワークの形成
情報ネットワークの形成

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

函館圏グローバルプラン 21
（エリア：「渡島支庁管内2市1町」）
国際交流の推進
国際化に対応した地域づくり
国際貿易・観光の推進
歴史浪漫・街道物語
（エリア：「渡島・檜山支庁管内6町」）
歴史を語る“もの”づくり
歴史を語る“雰囲気”づくり
東渡島（とーと）ネスパの里
（エリア：「渡島支庁管内1市」）
クアオルト（保養地）の形成
温泉の健康づくりへの活用
情報発信機能の充実
広域観光ルートの形成
P・E・S.（ピース）駒ヶ岳
（エリア：「渡島支庁管内3町」）
駒ヶ岳を遊ぶ
駒ヶ岳を食べる
駒ヶ岳を学ぶ
アクセス檜山10すくらむプロジェクト
（エリア：「檜山支庁管内全町（旧熊石町区域も含む）」）
魅力あふれる檜山の形成
歴史・自然・グルメを生かした観光振興
檜山からの情報発信
コリドール交流ネットワーク構想
（エリア：「渡島・檜山支庁管内4町」）
相互交流の推進
地域間PRの推進

【支庁独自事業の推進】

地域に根差した政策を推進するため、支庁が自ら企画立案し取り組むものとして、地域政策推進事業や共同要求事業を行っており、平成19年度の事業は次のとおりです。

地域政策推進事業
おしま体験学習づくり推進事業
埋もれた名物お魚発見事業
道南スギの見える部屋推進事業
子ども健全育成事業
おしまワイルドライフエコスクール（WES）サポート事業
「食」と「観光」の檜山ブランド創造・発信事業
共同要求事業
渡島半島ヒグマ対策事業

（３）個性豊かな地域が連携し、世界と結び北海道を支える「道央圏」

【圏域の概況】

道央圏は、日本海と太平洋の間に広がる石狩川流域の平野やニセコ・羊蹄山麓周辺、胆振地域、日高地域からなり、面積は全道の 27.5% を占め、北海道では人口や産業の集積が最も高い地域となっています。

平成 17 年 10 月現在の人口は 3,434 千人（H17 国勢調査）で、平成 12 年に比べ 0.6% の増加となっています。この圏域は、本道の政治・経済や教育・文化の中心である札幌、室蘭や苫小牧の工業地帯、空知の産炭地を擁しています。また、石狩川流域の稲作地帯、後志の野菜・果樹、日高の軽種馬などの特色ある農業や、太平洋、日本海の沿岸・沖合漁業など多彩な産業が展開しています。

特に、札幌や小樽、千歳、苫小牧、室蘭などの都市群が連たんとする道央中核都市圏では、新千歳空港を中心とした高速交通網、大学等の研究開発機能、技術蓄積などを生かして、試験研究機関や情報処理産業、先端技術産業の立地が着実に進んできています。

【圏域の振興方向と主な施策】

安心で「ゆとり」と「うるおい」のある地域づくり
 保健・医療・福祉の充実
 生活環境の整備や環境に配慮したまちづくり
 安全な地域づくり
 国際性豊かなまちづくりや特色ある地域文化の創造、地域を支える人づくり
 国際性豊かなまちづくり
 特色ある地域文化の創造
 地域を支える人づくり
 活力ある農林水産業の振興
 農業の振興
 林業の振興
 水産業の振興
 北海道を支える産業の拠点づくり
 産業集積の高度化
 商店街の活性化
 地域の特色を生かした観光・レクリエーションゾーンの形成
 観光資源の開発
 ホスピタリティの充実
 観光プロモーションの展開
 世界と結ぶ交通・情報ネットワークの形成
 交通ネットワークの形成
 情報ネットワークの形成

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

石狩地域やすらぎとふれあいのまちづくりプラン（エリア：「石狩支庁管内全市町村」）
 やすらぎとふれあいのネットワークの形成
 やすらぎとふれあいの機会の拡大・創出
 やすらぎとふれあいの拠点の形成
 ニセコ国際健康文化都市構想（エリア：「後志支庁管内 5 町」）
 文化づくりの推進
 健康づくりの推進
 快適な環境づくりの推進
 日本海マリングャラリー（海の回廊）の形成（エリア：「後志支庁管内 1 市 8 町 3 村」）
 海を中心とした地域資源の活用・保全
 道でつながる広域ネットワークの形成
 北のビタミンコンビナート構想（エリア：「後志支庁管内 1 市 13 町 4 村」）
 ガーデン・カントリーゾーンの形成
 ポテト・カントリーゾーンの形成
 ミルク・カントリーゾーンの形成
 ゾーンを結ぶ施策の展開
 「北育ち元気村」構想（エリア：「空知支庁管内 1 市 6 町」）
 「北育ち元気村」ブランドの多彩なプロモーションの展開
 活力と親しみのあるまちづくりや美しい農村景観づくり
 農業・農村や自然を生かした交流のステージづくり
 なかそらち食・水・緑のネットワーク構想（エリア：「空知支庁管内 5 市 5 町」）
 なかそらち・アクアステージ（水）の活用
 なかそらち・グリーン（緑）の活用
 なかそらち・広域ネットワーク事業の推進
 みなみそらち・ふれあいニュータウン構想（エリア：「空知支庁管内 4 市 5 町」）
 みなみそらち・ヒルズパークの形成
 みなみそらち・マウンテンパークの形成
 みなみそらち・フィールドパークの形成
 みなみそらち・イレブンネットワーク
 そらち・エコプロジェクト（エリア：「空知支庁管内全市町」）
 環境調和型、資源循環型ライフスタイルの形成
 雪氷冷熱の利活用推進
 リサイクル・エコビジネスの形成促進
 鶴川・沙流川ペアライン構想（エリア：胆振・日高・上川支庁管内 3 町 1 村）
 流域環境の保全
 流域レクリエーションの振興
 流域文化の創造
 流域コミュニティの形成と交流の促進
 人間回復の故郷づくりプロジェクト（エリア：胆振支庁管内 3 町）

地域文化の創造と発信
人間回復のステージづくり
交流機会の促進
トライアングル共生都市圏構想
（エリア：「胆振支庁管内3市」）
対話と協調スピリットに基づく都市連携の推進
科学技術の振興とものづくり拠点地域の形成
温泉や自然の恵みを生かした交流地域の形成
開拓や交流の歴史を大切にしたい、思いやりやいたわりを育てる文化の形成
レイクトピア21構想
（エリア：「胆振支庁管内1市3町」）
洞爺湖周辺地域におけるエコミュージアム構想の推進をめざして
洞爺湖レイクサイド総合レクリエーションの推進
海と川、みどりとみのりのふるさとヘルシーパークの形成
人と環境にやさしい文化性豊かな安全で快適な空間の創造
“森と海と優駿の里” STAGE 21
（エリア：「日高支庁管内全町」）
日高地域の特性を活かした魅力ある広域観光地場産業の育成
日高らしい魅力ある景観づくり

【支庁独自事業の推進】

地域に根差した政策を推進するため、支庁が自ら企画立案し取り組むものとして、地域政策推進事業や共同要求事業を行っており、平成19年度の事業は次のとおりです。

地域政策推進事業

石狩バイオマスネットワーク形成事業
アグリねっとDE産消協働促進事業
後志ふぞろいの食材応援事業
羊蹄山麓環境にやさしい産地づくり事業
外国人滞在型観光形成モデル事業
みんなの思いで伸ばそう「木道」支援事業
そらち食と観光ステップ・アップ推進事業
元気そらち！産炭地域活性化促進事業
いぶり産業観光ブランド推進事業
地域固有水産物「い-ブランド」育成モデル事業
地域ふれあい高齢者等外出支援モデル事業
いぶり火山マイスター育成事業
～日高でのんびり・ゆったり～都市・農山漁村2地域居住推進事業
『日高産ツブ』地域ブランディング事業
日高路観光グレードアップ事業
ひだかフロンティア農業促進事業
日高支庁管内エゾシカ対策モデル事業
馬文化拠点地域形成推進事業

（４）豊かな海と森を育み、美しい丘と牧歌の大地から世界へ伸びる「道北圏」

【圏域の概況】

道北圏は、北海道の中央部から最北端にかけて広がり、ロシア連邦サハリン州と隣接しています。また、大雪山系に代表される雄大な山岳をはじめ、豊かな森林や湿原、離島などの多彩な自然に恵まれています。

平成17年10月現在の人口は673千人（H17国勢調査）で、平成12年に比べ3.1%の減少となっています。

この圏域は、広大な土地と豊かな資源を背景にした農林水産業が基幹産業となっており、また、家具や木材・木製品製造業、水産加工業などが展開されています。

【圏域の振興方向と主な施策】

快適で安心して暮らせる地域づくり
 保健・医療・福祉の充実
 生活環境の整備や環境に配慮したまちづくり
 安全な地域づくり
 個性的な地域文化の形成と創造性豊かな人材の育成
 個性的な地域文化の形成
 創造性豊かな人材の育成
 サハリン州などとの交流拠点の形成
 国際交流拠点の形成
 自然と調和し、活力豊かな農林水産業やすそ野の広い産業の育成
 農業の振興
 林業の振興
 水産業の振興
 産業集積の高度化
 商店街の活性化
 地域の特色を生かした広域観光の展開
 観光資源の開発
 ホスピタリティの充実
 観光プロモーションの展開
 道内外と結ぶ交通・情報ネットワークの形成
 交通ネットワークの形成
 情報ネットワークの形成

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

天塩川流域ニューフロンティア構想
 （エリア：「上川・留萌・宗谷支庁管内 2市8町1村」）
 流域文化の創造
 流域環境の保全・創造
 健康の増進、スポーツの振興・交流
 旭央ネオポリス交流圏構想
 （エリア：「上川・空知支庁管内 2市8町」）
 健康保養拠点の形成
 文化交流拠点の形成
 ホワイト・アンド・グリーンロケーションプラン
 （エリア：「上川・十勝・日高支庁管内 1市8町1村」）
 地域の観光資源の開発
 滞在・拠点型観光、参加・体験型観光の推進
 地域連携による観光ネットワークの形成
 日本海地域物流・産業形成プロジェクト
 （エリア：「留萌支庁管内全市町村」）
 マーケット志向型農業と高収益な水産業の展開
 広域的な海上物流拠点の形成
 日本海オロロンライン観光振興プロジェクト

（エリア：「留萌支庁管内全市町村」）
 日本海地域の特性を生かした観光の推進
 観光客受入体制の充実
 留萌地域グリーン・ルネッサンスプロジェクト

（エリア：「留萌支庁管内全市町村」）
 100年植樹事業の推進
 みどり豊かな地域づくり
 宗谷観光体験交流ネットワークの形成

（エリア：「宗谷支庁管内全市町村」）
 広域観光の振興
 体験型交流施設の整備
 地域の資源を活用した製品開発
 サイクルネットワークの形成
 定住施策の推進
 サハリンとの交流拠点の形成

（エリア：「宗谷・上川・留萌支庁管内 2市9町2村」）
 サハリンとの交流の促進
 サハリンとの交流を促進する基盤の整備
 サハリン大陸棚石油・天然ガス開発後方支援機能の整備

エコエクスプローラー宗谷
 （エリア：「宗谷支庁管内全市町村」）
 自然環境の保全・快適環境の創造
 廃棄物処理対策の推進

ふるさと宗谷IT推進プロジェクト
 （エリア：「宗谷支庁管内全市町村」）
 情報通信基盤の整備
 情報通信の利活用の推進
 IT社会を担う人材の育成
 鶴川・沙流川ペアライン構想

（再掲 / 道央圏）

【支庁独自事業の推進】

地域に根差した政策を推進するため、支庁が自ら企画立案し取り組むものとして、地域政策推進事業や共同要求事業を行っており、平成19年度の事業は次のとおりです。

地域政策推進事業
 大雪カムイミンタラ地域展開事業
 上川まるごと魅力発信事業
 上川管内農業・農村体験交流受入ネットワーク化推進事業
 かみかわ「食」関連産業連携推進事業
 「ゆとりと豊かさ」酪農の郷づくり支援事業
 るもい森づくり塾推進事業
 るもい「食ロード構想」促進連携事業
 「山づくりの顔が見える木材利用プロジェクト」事業
 宗谷「てっぺん」プラン～宗谷「観光」と「食」の行動指針～推進事業
 サハリン交流総合推進事業

（５）すそ野の広い産業が展開し、のびやかな暮らしが人々を招く「オホーツク圏」

【圏域の概況】

オホーツク圏は、北海道の東北端に位置し、知床や阿寒などの国立公園や網走国定公園、サロマ湖などの湖沼群や流氷が訪れるオホーツク海など、すぐれた自然や長い日照時間に恵まれています。

平成17年10月現在の人口は325千人(H17国勢調査)で、平成12年に比べ4.1%の減少となっています。この圏域は、大規模な畑作、酪農を主体とする農業や豊富な森林資源に支えられた木材・木製品加工、ホタテ・サケなどの栽培漁業、さらに豊かな農水産資源を利用した食料品製造が展開されています。

【圏域の振興方向と主な施策】

「うるおい」と「やすらぎ」のある快適な生活空間の創造
個性あふれる地域文化の形成、まちづくり
保健・医療・福祉の充実
生活環境の整備や環境に配慮したまちづくり
安全な地域づくり
地域の特色を生かした地域間交流の活発化
地域間交流、国際交流の促進
地域を支える人づくり
地域を支える産業の体質強化と連携の推進
農業の振興
林業の振興
水産業の振興
産業集積の高度化
商店街の活性化
オホーツク観光の新たな展開
観光資源の開発
ホスピタリティの充実
観光プロモーションの展開
道内外と結ぶ交通・情報ネットワークの形成
交通ネットワークの形成
情報ネットワークの形成

オホーツクの発展を支える人材の育成・確保
オホーツクの特性を踏まえた環境重視型社会づくり
雇用・就業の場の確保

【支庁独自事業の推進】

地域に根差した政策を推進するため、支庁が自ら企画立案し取り組むものとして、地域政策推進事業や共同要求事業を行っており、平成19年度の事業は次のとおりです。

地域政策推進事業
オホーツク・エリア・アイデンティティ-（オホーツクAI）確立事業
知床への道」風景再生事業
エゾシカ保護管理推進事業
オホーツクの森と木を巡る森林環境教育推進事業
共同要求事業
エゾシカ資源活用・自然環境総合対策事業

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

「えんもん・共生コミュニティ」プロジェクト
（エリア：「網走支庁管内1市8町」）
えんもんの新たな魅力の発見と交流の拡大
えんもんの発展を支える人材の育成・確保
雇用・就業の場の確保
ほくもう・人材育成プロジェクト
（エリア：「網走支庁管内2市8町」）
ほくもうの新たな魅力の発見と交流の拡大
ほくもうの発展を支える人材の育成・確保
雇用・就業の場の確保
「ウェルカム！オホーツク」プロジェクト
（エリア：「網走支庁管内全市町村」）
オホーツクの新たな魅力の発見と交流の拡大
暮らしにおけるセーフティネットの構築

（6）都市と農山漁村が連携し、たくましい産業を育み、新たなライフスタイルを創造する「十勝圏」

【圏域の概況】

十勝圏は北海道の南東部に位置し、周囲を囲む大雪山国立公園、阿寒国立公園、日高山脈襟裳国立公園など、豊かな自然に恵まれています。

平成17年10月現在の人口は354千人（H17国勢調査）で、平成12年に比べ1.0%の減少となっています。この圏域は、広大な十勝平野を利用した大規模な畑作、酪農・畜産経営や、恵まれた森林・水産資源を生かした林業・水産業が展開されています。地域活性化に向けたさまざまな取組も雄大な自然や恵まれた地域資源を生かして展開され、また、北海道国際センターの整備や国際交流・協力のネットワークづくりが進んでいるほか、台湾や韓国・中国からのチャーター便が運航するなど、国際化に向けた取組が展開されています。

【圏域の振興方向と主な施策】

「うるおい」と「やすらぎ」のある地域づくり
保健・医療・福祉の充実
安全な地域づくり
生活環境の整備や環境に配慮したまちづくり
個性豊かな地域文化の創造と国際交流の推進
すぐれた人材の育成
個性豊かな地域文化の創造
国際交流の推進
たくましい農業の展開とゆとりと活力あふれる農村づくり
農業の振興
活力ある農村づくり
厚みと広がりのある地域の産業の展開
産業集積の高度化
林業の振興
水産業の振興
商店街の活性化
雄大な自然や農村景観を生かした体験型観光の促進
観光資源の開発
ホスピタリティの充実
観光プロモーションの展開
道内外と結ぶ交通・情報ネットワークの形成
交通ネットワークの形成
情報ネットワークの形成

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

「リンケージアップとかち」産業振興プロジェクト（エリア：「十勝支庁管内全市町村」）
産業振興拠点・体制の整備
産業支援体制の整備
産業連携の促進
地域産品の高付加価値化
物流システムの合理化
地域産品の販路拡大

「夢大陸とかち」創造プロジェクト
（エリア：「十勝支庁管内全市町村」）
グリーン・ツーリズムの促進
アウトドア活動の促進
芸術・文化、スポーツの振興
移住の促進
プロモーション活動の促進
国際交流・協力の促進
自然環境等の保全・整備
サービス提供の広域化の促進
「いきいき十勝人」人材育成プロジェクト
（エリア：「十勝支庁管内全市町村」）
高等教育機関の充実
個性的な学校教育の推進
多様な社会教育の推進
産業の担い手の育成・確保
生活を支える人材の育成・確保
地域づくりの人材の育成
ホワイト・アンド・グリーンロケーションプラン
（再掲/道北圏）

【支庁独自事業の推進】

地域に根差した政策を推進するため、支庁が自ら企画立案し取り組むものとして、地域政策推進事業や共同要求事業を行っており、平成19年度の事業は次のとおりです。

地域政策推進事業
アクティブとかち農業ステップアップ事業
十勝食育総合推進事業
「食の王国とかち」ニューマーケット開拓事業
myとかちモデルルート設定事業
十勝バイオマスリファイナリー産業創出事業
「学びの場で、とかちの木を体感！」事業
共同要求事業
エゾシカ資源活用・自然環境総合対策事業

（ 7 ）すぐれた自然に囲まれ、世界へひらく活力に満ちた生活・産業空間「釧路・根室圏」

【圏域の概況】

釧路・根室圏は、北海道東部に位置し、阿寒、釧路湿原、知床の国立公園などの湖沼・湿原、雄大な山岳をはじめとするすぐれた自然環境に恵まれ、道内有数の観光地となっています。

平成17年10月現在の人口は346千人（H17国勢調査）で、平成12年に比べ4.7%の減少となっています。

この圏域は、太平洋沿岸の好漁場と広大な土地に恵まれており、地域の資源を生かして水産業や大規模な酪農、石炭鉱業、紙・パルプ製造業などの産業が地域経済を支えてきましたが、これらの基幹産業を取り巻く状況は非常に厳しいものになっています。

また、北方領土早期返還に向けた環境整備を進めるための北方四島交流、自然環境や産業分野などにおける国際協力など、さまざまな国際交流が進められています。

【圏域の振興方向と主な施策】

住みやすく、「うるおい」のある地域社会の形成
保健・医療・福祉の充実
安全な地域づくり
環境に配慮した地域づくりや生活環境の整備
創造性豊かな人づくりと個性的な地域文化の創造
創造性豊かな人づくり
個性的な地域文化の創造
北方四島との交流拠点づくりと国際交流の推進
北方四島との交流拠点づくり
国際交流の推進
たくましい農林水産業や技術力の高い産業の振興
農業の振興
林業の振興
水産業の振興
産業集積の高度化
商店街の活性化
すぐれた自然環境を生かした新たな地域の魅力の創出
ワイズユースを念頭においた自然とのふれあい体験ゾーンの形成
観光資源の開発
ホスピタリティの充実
観光プロモーションの展開
道内外と結ぶ交通・情報ネットワークの形成
交通ネットワークの形成
情報ネットワークの形成

【パートナーシップ・プロジェクトの推進】

自然と共生する産業振興プロジェクト
（エリア：「釧路支庁管内全市町村」）

観光の振興
食関連産業の振興
自然の保護
廃棄物の適正処理

環境共生プロジェクト・ねむる

（エリア：「根室支庁管内全市町」）

恵まれた環境を生かした観光の振興
環境と調和した食関連産業の振興
より良い環境づくりの連携強化

【支庁独自事業の推進】

地域に根差した政策を推進するため、支庁が自ら企画立案し取り組むものとして、地域政策推進事業や共同要求事業を行っており、平成19年度の事業は次のとおりです。

地域政策推進事業
道東湿原域ワイズユース推進事業
体験観光くしろ地域加速連携型ステップアップ推進事業
エゾシカ資源活用・自然環境総合対策事業
くしろの食と観光の連携推進事業
地域が支えるくしろ農業推進事業
「くしろの食卓」北海道米食率アップ促進事業
根室地域ブランド戦略構築事業
エゾシカ資源化確立事業
畜舎排水浄化モデル推進事業
根室地域観光パワーアップ事業
絵本で知ろう初めての北方領土
ねむる水辺の森づくりモデル事業
共同要求事業
エゾシカ資源活用・自然環境総合対策事業